

◆ 第12回竜神地域会議 会議録 ◆

日時 2019年3月26日(火) 19:00~20:50
場所 竜神交流館 大会議室
出席者 委員 : 18名(欠席2名)
事務局 : 野田支所長、下川副支所長、川合副主幹、西村主査
オブザーバー: 桜井市議、杉本市議、今吉竜神交流館長、
地域保健課 加藤担当長

- 次第
- 1 会長あいさつ
 - 2 退任委員あいさつ
 - 3 連絡事項
 - (1) 竜神地域会議の予定
 - (2) 2019年度わくわく事業審査会結果について
 - (3) 2018年度わくわく事業発表会について
 - 4 協議事項
 - (1) 2019年度わくわく事業2次募集について
 - (2) 2020年度地域予算提案事業について
 - 5 その他
 - (1) おいでん・さんそんSHOW3月号

■議事(要約)

- 1 会長あいさつ<省略>
- 2 退任委員あいさつ<省略>
- 3 連絡事項
 - (1) 竜神地域会議の予定<省略>
 - (2) 2019年度わくわく事業審査会結果について

意見等

<委員>竜神地域会議が考える、わくわく事業の目的・趣旨を明確にしなければならない。今はそれぞれの委員が言いたい放題言っているように感じる。わくわく事業をやる事により、どのような価値が付くのか、またどうすれば価値がより上がるのかをという意見は良いと思うが、花苗代が高いという意見は少し違うように感じる。私は、わくわく事業は人材育成が重要だと感じている。ハード整備を進めるのではなく、人を育て、

地域住民それぞれがどのように行動するかが大切だと思う。委員もそういう視点で議論をしていただきたい。また、近藤会長がというような団体の代表などが自治区長や自治区役員で構成されているという問題も合わせて考えていけばよい。

＜委員＞いろいろと協議していくことは良いが、まずはわくわく団体が増えなければ意味がない。また今回は審査の過程において、新たに事前質問を行ったが、これについては委員や事務局の負担も多かったと思うが、事業の内容理解も深まり、これまで見てきた審査会よりも良かったと感じている。

＜委員＞わくわく事業と自治区活動は別にしなければならないのか。

＜委員＞それは今後、皆で検討していく内容だと思う。個人的には団体の代表や会員が自治区の役員ばかりで構成され、団体負担金を自治区が出すという内容は疑問に感じている。

＜委員＞現実には、地域でリーダーとなり皆をまとめられる人は、自治区で役員等をやっている。第三者でリーダーシップを取れる人を探すのは難しい。そのため、自治区とタイアップして事業を行えばよいと思う。

＜委員＞色々な意見があると思うので、またこの件については改めて時間をとって協議したい。

(2) 2018年度わくわく事業発表会について

意見等

＜委員＞参加人数の内、一般の方は何名ぐらいか。

＜事務局＞20名ぐらい。

＜委員＞目標等はあるのか。

＜事務局＞特に設定していないが、本来であればわくわく事業を広くPRするために、地域の方に来ていただきたい。

＜委員＞団体に舞台上で発表をしてもらうことはできないのか。アピールしたい団体も多いと思う。

＜事務局＞39の全団体が発表というのは時間的に難しいと考えている。

3 協議事項

(1) 2018年度わくわく事業2次募集について

決定事項

2019年度は2次募集を行わない。

協議事項

＜委員＞2018年度だけ特別に実施したということはおかしいし、不平等のように感じる。しばらくは2次募集を実施し、広く応募をかけるべきと思う。

＜委員＞これまでに1次審査に間に合わず、相談された事例はあるのか。そういう事例があるのであれば、サポートしてあげるためにも2次募集を行っても良いと思うが、これまでに無いのであれば必要ない。

＜事務局＞これまでには2018年の2件（竹村を明るくする会 竹上チーム、竹村を明るくする会 竹下チーム）以外は相談を受けたことはないが、相談に来なただけかもしれないので、正確には把握していない。

＜委員＞実施の可否の決をとる。

可…3票 否…15票

（2）2020年度地域予算提案事業について

分科会に分かれて協議実施

4 その他

（1）おいでん・さんそんSHOW3月号

【次回の予定】 第1回定例会 4月23日(火)午後7:00～ 竜神交流館大会議室

＜内容＞・2020年度地域予算提案事業について分科会協議

・新任委員のあいさつ 等